

帆船日本丸を愛する男声合唱団 第29回定期演奏会



挿画:柳原良平

2025年5月5日(月) 13時30分開演
神奈川県立音楽堂

ご挨拶

今日はゴールデンウィークのまっただ中、いろいろご予約もあったと思いますが、みなさま、ようこそお越し下さいました。心より感謝申し上げます。

港ヨコハマの地に「初代練習帆船日本丸」をお迎えして40年、「帆船日本丸を愛する男声合唱団」が誕生して31年となりました。創立以来、私たちはシー・シャンティを、そして海の歌を歌う市民合唱団として活動を続けて参りました。毎年の定期演奏会や海の日コンサートへの出演を通じて、横浜のシンボルである海の歌を、そして海の恵みを市民の皆さんに知ってもらうことに、若干なりとも貢献できたのではないかと自負しております。

第1回演奏会は横浜美術館レクチャーホールで開催しました。徐々に会場を広いところに移し、第8回定期演奏会（2003年）以降は、ここ神奈川県立音楽堂をホームステージとしてきました。

私たちはシー・シャンティをメインレパートリーとする日本で唯一の合唱団と自負しておりますが、海、川、湖、そしてお酒に関する様々な楽しい歌に加え、ハーモニーを重視した楽曲にも挑戦しております。精一杯歌いますので、お楽しみいただけましたら幸いです。

帆船日本丸を愛する男声合唱団 一同

プログラム

Weather Side

1. Sailing, Sailing
2. The Golden Vanity
3. Sloop "John B"
4. Rio Grande
5. What Shall We Do with
the Drunken Sailor ?
6. Shenandoah
7. Mingulay Boat Song
8. Swansea Town

Lee Side

1. 音戸の舟唄
2. 函館の女
3. 椰子の実
4. 日本丸船歌
5. あゝ月明は淡くして
6. Cruising Down the River
7. Bengawan Solo
8. The Leaving of Liverpool

シー・シャンティとは

シー(sea)は海、シャンティ(shanty, chanty)は歌。帆船時代に大型の横帆船の甲板上で、水夫が綱を引いたり、キャプスタンや巻揚機を巻いたりする共同作業の際に歌われた労働歌を元にしています。産業革命以降、木造船が鉄造船になり、帆船から蒸気船になるにつれ、水夫の仕事の内容も変わり、歌われる機会が減ってきました。しかしそれと同時に、シーシャンティは、他の民謡と同じように採譜され、編曲され、伴奏が付けられ、プロやアマチュアの合唱団で歌われるようになりました。機械化・AI化が進展した現代にあっても、帆船そしてシーシャンティは、ヨーロッパを中心に世界中で愛され続けています。

シーシャンティは、労働の内容に応じていくつかのタイプに分けられます。「ショート・ホール・シャンティ」、「ハリヤード・シャンティ」、「キャプスタン・シャンティ」などです。この他に「フォクスル・シャンティ」と言って、非番の船乗りたちが彼らの船室でくつろぎのひと時に歌った歌もあります。こちらは、バラード風で、滑稽なもの、恋人のこと、冒険、歴史上の人物などを題材にした歌の多いのが特徴です。

本日の演奏会

指揮 大久保 憲

東京藝術大学声楽科卒業。イタリア留学時、ミラノにおいてオペラ、コンサートに出演。帰国後、二期会、新国立劇場合唱団メンバーとしてオペラ公演に多数出演。当合唱団キャプテン（第4代）。

ピアノ 神谷季世子

国立音楽大学教育音楽学部卒業。ブライダルオルガニスト。都内ホテルラウンジにてピアノ演奏。ジャズピアノを辛島文雄氏に師事。ヤマハポピュラーミュージックスクール講師。ライブハウス等で活躍中。

ギター 鈴木敏幸

尚美高等音楽学院（現、尚美学園大学）修了後、ジャズギターを宮之上貴昭氏に師事。現在、横浜、東京等を中心に幅広く音楽活動をするなか、自己のグループにおいてライブハウス等で活躍中。

ベース サリー佐藤

ジョン・ヒックス（ピアノ）、ハンニバル・M・ピーターソン（トランペット）と「We Four」をレコーディング。現在、オールマイティなベースプレイヤーとして、横浜のライブハウスを中心に活躍中。定期的に主催する「瓶底爺（びんていじい）」に2024年6月合唱団有志が賛助出演。

歴代キャプテン

大町正人（第1回～第14回） 当合唱団創立者・初代キャプテン、元ボニージャックス・リードテナー。

白石卓也（第15回～第19回） 第2代キャプテン、オーケストラ・合唱指揮者。

大森いちえい（第20回～第26回） 第3代キャプテン、新国立劇場で数々のオペラに出演中。

お世話になった先生方

大町ますみ ソプラノ歌手、当合唱団ヴォイストレーナーを長く務める。

石黒孝子 ピアニスト・音楽講師、当合唱団のシー・シャンティを多数編曲。

篠田昌伸 作曲家・ピアニスト、当合唱団のシー・シャンティを多数編曲。

帆船日本丸を愛する男声合唱団

1994年5月、横浜市文化振興財団により「ワークショップ～男声合唱編」が開催され、その時の指導者（故大町正人さん）をキャプテン（音楽監督・指揮者）として結成された男声合唱団。船乗りの労働歌をもととする「シー・シャンティ」をメインレパートリーとし、船や海に関する日本の歌も得意としている。

毎年の定期演奏会に加え、海の日イベント等でも演奏。世界中の大型帆船とシーシャンティ合唱団が集う世界帆船祭りにも2回招待出演（2003年オランダ・デルフザイル市「デルフセイル2003」、2014年7月ノルウェー・ベルゲン市「トールシップ2014」）。国際シーシャンティ協会(ISSA)には、アジアの合唱団で唯一加盟。毎週火曜日および月1回の休日練習で腕を磨いている。

団員募集中です。オーディションはありません。海が好きな方、船が好きな方、歌が好きな方、一度見学にお越し下さい。詳しくは、ホームページをご覧ください。<https://ssnippon.sakura.ne.jp>

Weather Side (風上) シー・シャンティ

1. Sailing, Sailing traditional sea shanty、編曲：Roger Wagner

さあ出帆だ、出帆だ。波躍る大海原の彼方へ向けて。

日本丸合唱団定期演奏会のオープニングを飾るにふさわしい曲です。大型のバーク船（注：日本丸は4本マストバーク船です）が、お誂えの追い風に乗って、波躍る大海原の彼方にある自由の国に向かって出航する様子を描いています。今夜の旅立ちの前に、祖国と快活な女性たちのために歌をうたおう、船乗りに乾杯、兵士に乾杯と、胸は高なります。

2. The Golden Vanity traditional sea shanty、編曲：荒谷俊治

ローランド海を持ち場とする「ゴールデン・ヴァニティ号」の物語です。そこで「The Lowland Sea」「The Lowlands Low」と呼ばれることもあります。ゴールデン・ヴァニティ号は、敵のスペイン船に遭遇してしまいましたが、小さなキャビンボーイの活躍で敵の船腹に穴を空け、スペイン船を沈没させます。

私たちの歌詞はここまでですが、その先には悲しい物語が続きます。ご褒美のはずだった金貨も銀貨も美しい花嫁も反故にされ、少年は溺れ死んでしまうのです。

3. Sloop "John B" traditional sea shanty、編曲：篠田昌伸

この歌は、フロリダ沖の島国バハマの首都であるナッソーで歌われたフォークソングを元にしています。一本マストのスループ船「ジョンB号」でのハチャメチャなお話を歌っています。上陸したナッソーで飲み明かして大げんか、酔っ払った一等航海士が船長を傷つけた、コックがシリアルを投げ捨てた、ああお仕舞いだ、早く国に返してくれ、と叫びます。

原曲は多くの音楽家によって編曲され、ポピュラーミュージックとなっています。なかでも、ビーチボーイズの歌は1960年代に大ヒットしました。

4. Rio Grande traditional sea shanty、編曲：小林正明

スペイン語・ポルトガル語で、リオは川、グランデは大きいという意味ですので、リオグランデは、「大きな川」を意味します。このリオグランデという名前の川でいちばん有名なのはアメリカとメキシコの境目の川です。

ですが、この歌は、ブラジルの最南端リオグランデドスル州（大南河州）のことを歌っています。むかし金が見つかったため、一攫千金の男どもがここを目指したのです。ボストンのまちは俺には似合わない、オレはリオグランデドスルに行って大儲けするんだ、と歌います。

5. What Shall We Do with the Drunken Sailor? traditional sea shanty、編曲：小林正明

錨を巻き上げるために、船乗りたちはキャプスタン棒を握り、甲板上で足を踏み鳴らしながらクルクルと回ります。その時歌われる歌の一つですが、朝っぱらから酔っぱらってしまった船乗りをどう懲らしめたものか、酔いが醒めるまで小さいロングボートに放り込んでおけ、とか、その船底の栓を抜いてヤツを水浸しにしてやれ、あれこれと考えを吐露する他愛無い、しかしユーモアのある歌です。

歌詞の Way Hay Up She Rises のところでは、甲板の上を踏みならしたと言います。

6. Shenandoah traditional sea shanty、編曲：Norman Luboff・小林正明

シェナンドーは、「ミズーリ河の畔」で暮らすインディアン酋長の名前です。ここを訪れた白人の男が、この酋長の娘と恋に落ちました。男が去るにあたり、何とかして一緒に連れて帰ろうと、盛んに酋長に懇請するのですが、男の願いは叶えられず、失意のうちに去っていくという内容です。

これまで17回も演奏している愛唱歌的な曲ですが、今回は小編成のアンサンブルでお届けします。

7. Mingulay Boat Song traditional sea shanty、編曲：小林正明・大町正人

古いスコットランドの民謡です。漁を終えた漁師たちが妻たちの待つミンギュレイ島を目指して帰る様子を歌ったものです。ミンギュレイ島はスコットランドの西、ヘブリディーズ諸島の南端にある小さな島で、現在は無人島です。

8. Swansea Town traditional sea shanty、編曲：Alice Parker and Robert Shaw

ウェールズ南部の港町、スウォンジーは18世紀初頭から、銅産産を主とする鉱山冶金業の中心地として栄えましたが、歌は銅鉱石の貿易に従事する小さなバーク船の中で歌われました。また第二次世界大戦中は、Red Duster 旗を掲げる英国商船団でもよく歌われました。

歌詞の内容は、港町スウォンジーに住む一人の娘とある船乗りのロマンスですが、この娘への愛しい気持ちは「adore：敬愛する、敬慕する」と表現されています。

編曲者である Robert Shaw の率いる合唱団の歌はYouTubeでも有名ですが、私たちもそれに負けない歌声を目指しています。



Lee Side (風下) 海の歌、ほか

1. 音戸の舟唄 広島県民謡、編曲：篠田昌伸

安芸の国（広島県）呉市の国立公園休山と倉橋島に挟まれた「音戸の瀬戸（海峡）」は、最狭部が70メートルしかなく、潮の流れが速く岩もあり渦が巻いて難所とされていました。ここを小さな伝馬船を漕いで渡るのは大変だったでしょう。

呉市は、この船歌を市の無形文化財に指定し、2008年からほぼ毎年「音戸の舟唄」全国大会を開催していました。

私たちの編曲では、ベースパートが一定のリズムで櫓を漕ぎながら、テナーパートが朗々と歌います。

♪ ヤレ船頭可哀や、音戸の瀬戸でよ、一丈五尺の櫓が撓るよ
ヤレ泣いてくれるな、出船の時はよ、沖で櫓櫓の手が洩るよ
ヤレ浮いた鷗の、夫婦の仲をよ、情け知らずの伝馬船よ
ヤレ安芸の宮島、廻れば七里よ、浦は七浦ヤーレノエ七戎よ ♪

2. 函館の女 (ひと) 作詞：星野哲郎、作曲：島津伸男、編曲：篠田昌伸

演歌の大御所北島三郎は数多くのヒット曲を有していますが、「尾道の女」、「博多の女」、「薩摩の女」、「伊予の女」…と続く「女」シリーズで、最も人気の高い曲がこの「函館の女」。

かつて別れた恋人を捜しに函館に戻ってきた男の姿を描いた歌詞が、勇壮な旋律に乗って歌われます。
1965年にリリースされ大ヒットしたこの曲は、作詞家の星野哲郎（元船乗り）にとっても代表作となりました。

3. 椰子の実 作詞：島崎藤村、作曲：大中寅二、編曲：篠田昌伸（初演）

のちに民俗学者となる柳田國男が学生時代に愛知県渥美半島の伊良湖岬で一か月あまりを過ごしました。或る日の早朝、伊良湖岬の恋路ヶ浜で、南の島から黒潮に乗って流れ着いた椰子の実に遭遇しました。帰京してその感動を親友の島崎藤村に話したところ、心を動かされた藤村は「漂泊の詩人」である自らの憂いを重ね、この詩を書きました。この詩は1901年刊行の詩集『落梅集』に収録されましたが、メロディが付けられたのはずっと後のことです。作曲家でオルガニストの大中寅二が作曲し、1936年に発表されました。この歌は多くの人に親しまれ、2006年に文化庁と日本PTA全国協議会が「親子で長い間歌い継いでほしい歌」という観点から選定した「日本の歌百選」にも選ばれています。

本日は、会場みなさんとともに歌いたい歌として、この歌を選びました。どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 名も知らぬ 遠き島より 流れ寄る ^{やし} 椰子の実一つ

^{ふるさと} 故郷の岸を 離れて ^{なれ} 汝はそも ^{いくつき} 波に幾月

(2) ^{もと} 旧の木は ^お 生いや茂れる 枝はなお 影をやなせる

われもまた ^{なごき} 渚を枕 ^{ひとりみ} 孤身の ^{うきね} 浮寝の旅ぞ

(3) 実をとりて 胸にあつれば ^{あらた} 新なり ^{りゅうり} 流離の ^{うれい} 憂

海の日 沈むを見れば ^{たぎ} 激り落つ ^お 異郷の ^{いきよう} 涙

思いやる ^{や え} 八重の ^{しおじお} 汐々 いずれの日にか 国に帰らん

4. 日本丸船歌 作詞：長田恒雄、作曲：小宮山繁、編曲：石黒孝子

練習帆船日本丸（初代）は、1930年に建造され、海王丸（初代）とともに多くの船員を育てました。第二次大戦後は、輸送船・引揚げ船としても用いられ、1984年に引退し、横浜港に繋留されています。2018年には重要文化財に認定されました。

この歌は、練習船帆船日本丸の若き船乗りをたたえる歌で、練習船が寄港する際には、よく歓迎演奏が行われます。当合唱団が2010年に徳山港で日本丸（二代目）と海王丸（二代目）を迎えたときにも、埠頭に整列し、この歌を演奏しました。

5. あゝ月明は淡くして 東京高等商船学校寮歌 作詞：横山禅一、作曲：呉泰次郎

作詞者の横山禅一は昭和17年東京高等商船学校機関科在学中に寮歌募集に応募しました。1位「潮の香薫る」2位「あゝ月明は」のいずれもが横山の作詞によるものです。作曲は機関科先輩の呉五郎が行う予定でしたが、同年に戦死された。そこで、実兄の呉泰次郎（東京音楽学校教授）が作曲し、弟の生前の約束を果たしました。

昭和17年10月30日、講堂に全生徒を集め、発表会と歌唱指導が行われました。「あゝ月明は」は2位ではありましたが、呉泰次郎の予言通り、より頻繁に歌われるようになりました。そして、東京高等商船学校のみならず、全国の高等商船学校でも広く歌われました。

本日は、高等商船学校卒業の船乗りに加え、航空自衛隊で自衛艦乗艦の団員、ヨット好きの団員が歌います。

6. Cruising Down the River 作詞・作曲：Eily Beadell・Neil Tollerton、編曲：篠田昌伸

1945年の全英コンテストで、お二人のご婦人が優勝を勝ち取った作品です。

お天気がよく、そよ風が吹き、上空には小鳥がさえずる日曜日の昼下がり、舟で川を下りながらハネムーン計画を立ててくつろぐカップルの様子を歌っています。

多くの歌手に歌われましたが、ラス・モーガンのレコードは、1949年、アメリカ「ビルボード誌」で9週間にわたり第1位に輝きました。

7. Bengawan Solo ブンガワン・ソロ 作詞・作曲：グサン・マルトハルトノ、編曲：石黒孝子

インドネシア・ジャワ島中部の大河「ソロ川」を歌ったもので、「雨季には水が溢れるが、乾季にはほとんど枯渇してしまう。」「川はソロで生まれ、流れて海に至る。」と雄大な川の自然を讃えています。その自然の不思議さとともに、そこで生きる人々の故郷への想いがうたわれています。

グサンさんがソロ川のほとりを散歩していて「突然閃いた」この曲ができたのは1940年、ソロの若者に受け、インドネシア中に広まりました。

曲自体は日本でも以前からよく知られており、1948年には松田トシが日本語の歌詞で歌いヒットしました。また、美空ひばり、ボニージャックスも別の歌詞で歌っています。

8. The Leaving of Liverpool traditional sea shanty、採譜：大町正人、編曲：石黒孝子

リバプールはアイルランド海に面した港町で、後背地にマンチェスター、ランカスター等の織物工業の町があったことから、外国貿易の基地として栄え、北米のクリッパー船等で大いに賑わいました。

「ディビー・クロケット号」という名のヤンキーの帆船に乗って働くことになった一人の船乗りが、カルフォルニアへ船出をしなければならず、その辛い胸のうちを愛しい恋人に打ち明けます。そして君と今度会えるまでには長い長い時間がかかるだろうけど、もし帰ったら君と一緒になろう、と語りかける、そういった内容です。

帆船日本丸を愛する男声合唱団・第29回定期演奏会

実行委員長：丸山隆男 表紙画提供：柳原良平画伯 シーシャンティ解説：宮崎多加雄

後援：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、公益財団法人帆船日本丸記念財団

朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、**tvk**（テレビ神奈川）

令和7年度神奈川県文化芸術活動団体事業補助金対象事業(申請中)

参考文献：Richard D. Terry “The Shanty Book”, 1921. Walter Goodell “Chanteys and Songs of the Sea”, 1924.

William M. Doerflinger “Songs of the Sailor and Lumberman”, 1951.

Stan Hugill “Shanties from the Seven Seas”, 1961. 檣濤歌集 1994、Wikipedia ほか。 印刷：（有）印刷工房



帆船日本丸を愛する男声合唱団・長寿番付

東				蒙御免	西			
横綱	山本 安美	B7	和歌山		横綱	小永井 晃	T2	鎌倉
大関	◆相馬 誠一	B2	那須岳	親方・キャプテン 大久保 憲	大関	*丸山 一義	T2	久が原
大関	川島 通明	T2	田子の浦		大関	推野 浩一	T2	南品川
大関	◇宮崎 多加雄	T2	三ツ沢		関脇	稲垣 孟	B2	池尻
関脇	木村 正次	T7	大阪南		関脇	杉野 雅彦	T7	福岡
関脇	原田 實	B7	北河内		小結	中岡 英臣	T2	満洲安東
小結	岩尾 信正	B2	尾張		小結	新西 實	T2	滝野川
小結	鈴木 昭	T2	久里浜		前頭一	佐藤 精吾	B7	鶴見
前頭一	伊藤 隆輔	B7	鶴見		前頭二	須藤 義太郎	T2	保土ヶ谷
前頭二	植木 孝典	B2	宮城野		前頭三	波多野 義重	B7	大連
前頭三	岡本 昭男	T2	豊岡		前頭四	西山 豊	B2	樺太豊原
前頭四	◇佐山 大祐	B2	哈爾濱	創立者・キャプテン 第二代キャプテン 第三代キャプテン 大森 卓也	前頭五	廣原 健	T2	横須賀
前頭五	西川 正留	B2	浜田		前頭六	北村 知士	B7	東玉川
前頭六	岸本 征夫	T7	天津		前頭七	◇山口 清隆	T7	衣笠
前頭七	◇荒津 一郎	B7	福岡		前頭八	鶴野 正樹	B7	遠野
前頭八	◇大崎 逸朗	B2	上州		前頭九	新木 邦男	B7	東蒲原
前頭九	石井 邦雄	T7	旭ヶ丘		前頭十	大橋 博	B7	元町
前頭十	丸山 隆男	T7	佐久		前頭十一	◆飯田 誠一	T7	伊勢佐木
前頭十一	鈴木 純	T7	佐世保		前頭十二	山路 永司	B2	石鎚山
前頭十二	野本 秀雄	T2	博多		前頭十三	近藤 師雄	B7	武蔵野
前頭十三	◇江野村 勝	T7	大倉山		前頭十四	須藤 信行	B2	山城
前頭十四	雨宮 伊作	B7	甲州	大森 卓也	前頭十五	渡辺 浩久	B2	沢渡
前頭十五	近森 茂雄	T7	土佐		前頭十六	古川 幸一	B7	大阪福島
前頭十六	二村 修	T2	南河内		前頭十七	大和 浩章	T2	発寒
前頭十七	飯島 伸雄	T7	伊東		前頭十八	櫻井 善紀	B2	津山
前頭十八	鈴木 重幸	B2	神奈川		前頭十九	中村 圭一郎	T7	鷺沼
前頭十九	熊田 公信	T7	神田					
前頭二十	倪 瀬波	B7	寧波					

T7部屋(トップテナー)

T2部屋(セカンドテナー)

B7部屋(バリトン)

B2部屋(バス)

出場77名 休場 2名

出場72名 休場 2名

出場73名 休場 7名

出場77名 休場 2名

部屋頭:岸本征夫

部屋頭:野本秀雄

部屋頭:新木邦男

部屋頭:岩尾信正

最高位:関脇(86歳)

最高位:横綱(97歳)

最高位:横綱(93歳)

最高位:大関(89歳)

番頭(団長) 山路永司

技芸取組(副団長) 丸山隆男

庶務取組(事務局長) 鶴野正樹

◆氏名 = 初土俵(定期演奏会初出演)

◇氏名 = 休場(陸上持機)

*氏名 = 休場(天上持機)